

本時の流れ (第10時)

本時の目標

作品に表れた作者のものの見方や生き方について話し合っ、考える。

本時のめあての把握
本時のめあてを理解する

【めあて】

作者が「やまなし」にこめた思いについて考えよう。

CLICK

本時の詳細

前時のワークシートに赤を入れ、自信をもって自分の考えを言えるようにさせる。

「イーハトーヴの夢」や「やまなし」の作者のものの見方と考え方を関連させて、作者の思いについて考えさせる。

全体での話し合い

- 1 5月と12月を対比して感じたことを出し合う。
- 2 5月と12月のイメージをまとめる。

根拠を明確にし、聞き手である相手の意図を意識して自分の考えを表現したり、互いの考えを聞いたりする言語活動を、充実させる。

題名読み

作者はなぜ、「やまなし」という題名をつけたのか、考え発表する。

自分の考えを発表する機会を確保させるためにペアで話し合いをして、その後、発表させる方法もある。

書きまとめ

100字の原稿用紙に書きまとめる。

- 1 「やまなし」を通して賢治が伝えたかったことを理由も入れてまとめる。
- 2 書いてまとめたことを発表する。

基本課題用と発展課題用の2種類のヒントカードを使うことで、個に応じて、ポイントをしばって書くことができるようにする。

自分の考えを確かめたり、深めたりするために書く活動を位置付ける。「100字程度」という条件をつけることで、文章の構成や要旨を整理して書かせる。

授業の振り返り

- 1 ノートに、意見を聞いて考えが深まったことや、感じたことを書く。
- 2 振り返りを発表する。

学習事項について書いて振り返る時間を充分にとる。

HOME

単元の流れへ

板書記録・授業記録へ

CLICK